



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月26日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/ja/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,791	△11.2	2,705	△31.1	2,927	△27.4	2,151	△29.9
2020年3月期第2四半期	40,286	△4.8	3,925	3.8	4,033	△3.4	3,069	3.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,194百万円(△42.8%) 2020年3月期第2四半期 2,087百万円(7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	26.60	26.56
2020年3月期第2四半期	37.78	37.77

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	104,209	85,020	81.3
2020年3月期	105,378	84,538	80.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 84,703百万円 2020年3月期 84,308百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2021年3月期	—	9.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△7.8	5,800	△25.2	6,000	△25.9	4,400	△30.0	54.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の通期業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	82,623,376株	2020年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,732,742株	2020年3月期	1,744,611株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	80,883,167株	2020年3月期2Q	81,246,007株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、2020年11月9日(月)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社URLに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長期化する米中貿易摩擦による影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各国が実施した渡航禁止や都市封鎖などにより経済活動が大きく停滞しました。その後も新型コロナウイルスの影響の長期化により、回復のペースは緩やかなものに留まっています。米国では都市封鎖解除後に雇用が回復し個人消費も持ち直しました。欧州では生産及び輸出が4月を底に回復基調にありましたが感染拡大の第2波が到来し勢いが鈍化しました。アジアでは世界に先駆けて経済活動を再開した中国で経済の回復が持続しました。

日本経済は、緊急事態宣言解除後は個人消費、生産及び輸出とも持ち直しましたが、企業の設備投資が弱含むなど本格的な回復までには時間がかかる見通しです。

当社グループ関連の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による半導体業界や電子部品業界の需要の落ち込みはほとんどなかったものの、自動車関連分野の需要が低迷し、全体として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染症対策をとるとともに、国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は357億91百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は27億5百万円（前年同期比31.1%減）、経常利益は29億27百万円（前年同期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億51百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 電子デバイス事業

当事業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による自動車業界の需要低迷等により、自動車関連入力デバイスを中心に出荷が低調に推移し、全体として売上げは前年を下回りました。

入力デバイスは、薄型ノートパソコン用タッチパッドの出荷が好調に推移しましたが、主力の自動車向けキースイッチの出荷が振るわず、売上げは大幅に落ち込みました。

ディスプレイ関連デバイスは、液晶接続用コネクタが引き続き低調に推移し、光学用途向け視野角制御フィルム（VCF）の出荷も横ばいで、全体として売上げは落ち込みました。

コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタの出荷が順調に推移しましたが、売上げは前年並みとなりました。

この結果、当事業の売上高は79億24百万円（前年同期比21.7%減）、営業損失は32百万円（前年同期は7億92百万円の利益）となりました。

#### ② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器やキャリアテープ関連製品の堅調な出荷が続きましたが、全体として売上げは前年並みとなりました。

半導体関連容器は、半導体業界の底堅い需要を背景に300mmウエハー用出荷容器の出荷が堅調に推移し、売上げを伸ばしました。

OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの消耗品需要が伸びず、売上げは低調でした。

キャリアテープ関連製品は、スマートフォン用の電子部品需要が好調を維持し、売上げは底堅く推移しました。

シリコンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移したものの、全体として売上げは横ばいとなりました。

この結果、当事業の売上高は166億73百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は25億54百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

#### ③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努め、新規事業製品の拡販を推し進めましたが、食品包装資材や建設資材、自動車関連の素材系製品が需要低迷の影響を受けて、全体として売上げは前年を下回りました。

ラッピングフィルム等包装資材関連製品は、スーパー向けが堅調だった半面、外食産業向けが落ち込み、全

体的に出荷が振るわず、売上げは低調でした。

塩ビパイプ関連製品は、市場競争が激しい中、出荷量が確保できず、売上げは前年を下回りました。

機能性コンパウンドは、ロボットケーブル用の出荷低調が続き、自動車用の需要も減速したため、大幅に落ち込みました。

外装材関連製品は、価格改定、新規取引先への拡販等により好調を維持したものの、売上げは前年並みとなりました。

新規事業製品のうち、導電性ポリマーは、スマートフォン部品用途の受注が回復をみせましたが、自動車用電子部品用途の受注が戻らなかったため、売上げは横ばいとなりました。

この結果、当事業の売上高は84億45百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は89百万円（前年同期比75.4%減）となりました。

#### ④ その他

工事関連では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による需要低迷の影響により、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が減少し、全体として、売上げは前年を下回りました。

この結果、その他の売上高は27億48百万円（前年同期比33.8%減）、営業利益は93百万円（前年同期比43.5%減）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、長期化する米中貿易摩擦による影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により停滞した国内外の経済活動が本格的に回復するまでには時間を要するものと思われま

すが、当社グループの事業環境につきましては、半導体業界や電子部品業界の需要は比較的堅調に推移するものと見られますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車業界の需要回復は遅れるものと見込んでおります。

このような状況において、当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症による自動車業界での需要低迷の影響を最小限に抑えるため、最適地生産と更なる合理化を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する従業員の感染防止のための徹底した衛生管理と働き方の工夫を行い、万が一の操業停止などに備えたBCM強化を進めてまいります。

2021年3月期の連結業績予想といたしましては、売上高740億円、営業利益58億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益44億円としております。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2020年10月26日）、別途「2021年3月期連結業績予想に関するお知らせ」においても開示しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,514	45,294
受取手形及び売掛金	19,250	16,308
電子記録債権	2,870	2,547
商品及び製品	7,086	6,583
仕掛品	1,396	1,302
原材料及び貯蔵品	3,212	3,533
未収入金	1,090	1,076
その他	765	399
貸倒引当金	△511	△493
流動資産合計	77,676	76,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,512	8,119
機械装置及び運搬具（純額）	5,137	5,009
土地	6,652	6,616
建設仮勘定	1,503	2,041
その他（純額）	1,774	1,699
有形固定資産合計	23,579	23,487
無形固定資産		
ソフトウェア	74	112
その他	81	44
無形固定資産合計	156	157
投資その他の資産		
投資有価証券	1,874	2,006
繰延税金資産	1,058	1,027
その他	1,033	975
投資その他の資産合計	3,966	4,010
固定資産合計	27,701	27,654
資産合計	105,378	104,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,591	8,624
電子記録債務	2,057	2,140
未払金	1,053	1,131
未払法人税等	520	865
未払費用	2,141	2,100
賞与引当金	1,296	1,368
役員賞与引当金	57	28
その他	1,053	1,077
流動負債合計	18,771	17,337
固定負債		
退職給付に係る負債	1,341	1,155
その他	726	695
固定負債合計	2,068	1,851
負債合計	20,839	19,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	66,259	67,600
自己株式	△1,683	△1,672
株主資本合計	86,930	88,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	285
為替換算調整勘定	△2,776	△3,833
退職給付に係る調整累計額	△36	△31
その他の包括利益累計額合計	△2,622	△3,579
新株予約権	229	316
純資産合計	84,538	85,020
負債純資産合計	105,378	104,209

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	40,286	35,791
売上原価	27,498	24,705
売上総利益	12,787	11,086
販売費及び一般管理費	8,861	8,381
営業利益	3,925	2,705
営業外収益		
受取利息	163	131
為替差益	—	5
受取保険金	—	52
投資有価証券売却益	76	—
その他	75	49
営業外収益合計	315	239
営業外費用		
支払利息	9	14
為替差損	173	—
その他	23	2
営業外費用合計	207	17
経常利益	4,033	2,927
税金等調整前四半期純利益	4,033	2,927
法人税、住民税及び事業税	782	785
法人税等調整額	181	△9
法人税等合計	963	775
四半期純利益	3,069	2,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,069	2,151



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,069	2,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	94
為替換算調整勘定	△917	△1,056
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	△982	△956
四半期包括利益	2,087	1,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,087	1,194

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,033	2,927
減価償却費	1,861	1,752
受取利息及び受取配当金	△181	△146
支払利息	9	14
為替差損益(△は益)	144	74
売上債権の増減額(△は増加)	1,713	3,003
たな卸資産の増減額(△は増加)	△557	91
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,785	△1,708
投資有価証券売却損益(△は益)	△76	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△200	△179
未払又は未収消費税等の増減額	430	8
その他	△1,045	616
小計	4,346	6,454
利息及び配当金の受取額	176	150
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,168	△631
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,343	5,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	80	307
有形固定資産の取得による支出	△2,873	△1,671
その他	195	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,596	△1,435
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△650	△808
その他	△0	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650	△882
現金及び現金同等物に係る換算差額	△660	△545
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△563	3,093
現金及び現金同等物の期首残高	40,802	41,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,239	44,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,115	16,354	9,665	36,136	4,149	40,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,115	16,354	9,665	36,136	4,149	40,286
セグメント利益(営業利益)	792	2,603	363	3,760	165	3,925

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,924	16,673	8,445	33,043	2,748	35,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,924	16,673	8,445	33,043	2,748	35,791
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失)	△32	2,554	89	2,611	93	2,705

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。